

樟彩

～ 岩田学園だより 2023年3月号 ～



高校卒業式	1
卒業証書授与式式辞	2
中学卒業式	3
マレーシア修学旅行	3
部活動等結果	4
大学入試合格速報	5
卒業生バトンルー	6
体育大会の日時・会場	6
退職される先生方	6

第35回卒業証書授与式

3月1日(水)、高校卒業式が挙行されました。新型コロナウイルス感染症対策における制限は残るものの、生徒のマスク着用は個人の判断とし、校長式辞・理事長告示・来賓祝辞の際のマスク着用も任意となりました。

式は国歌黙唱で始まり、校長から生徒一人一人に卒業証書を手渡ししました。続いて校長から式辞、理事長から告辞があり、来賓の立命館アジア太平洋大学教育開発学習支援センター准教授・立山博邦様と岩田学園同窓会樟友会・千壽智明様より祝辞をいただきました。

その後、在校生を代表して高校2年生の漆間虎弥太さんが送辞を、卒業生を代表して内田雅貴さんが答辞を述べました。最後は校歌を黙唱し、卒業生は在校生代表と職員、そして保護者の方々の拍手に送られながら式場を後にしました。

今年の卒業生(35回生)の高校生活は、新型コロナウイルスの流行と重なった3年間でしたが、卒業生は謙虚ながらも芯の強さがあり、様々な困難を乗り越えここまですることができました。それぞれの夢に向かって新たな一歩を踏み出しています。

《理事長賞》

浦部 織 高野 琉音 吉岡 璃子
栗林 杏奈 西田 凌 甲斐 華
(以上6名)

《APU・立命館コース優秀賞》

藪井 晴朝

《皆勤賞》

柏木 大和	後藤 一貴	田崎 和
中島 諒悟	相本 莉愛	江上功太郎
小川 凌太	香嶋いろは	工藤 才幹
久保 彩香	佐藤 大輔	田崎 悠
登根陽菜乃	麻生 莉緒	鎌田 愛加
篠原 幸環	菅 陽斗	帯刀 勇人
西田 凌	阿部 亮介	甲斐未来哉
右田 千夏		

(以上22名)

《知事賞》

吉岡 璃子

《日本私立中高連会長賞》

矢田 昂聖

《高校生新聞社賞》

西田 凌

《大分県私学保護者会長賞》

岩田 倫

〈送辞〉

漆間虎弥太

〈答辞〉

内田 雅貴

〈記念品目録贈呈〉

菅 陽斗



在校生送辞
漆間虎弥太さん



卒業生答辞
内田雅貴さん



記念品目録贈呈
菅陽斗さん



第35回卒業証書授与式式辞

校長 児玉 洋司

35回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんがいま手にした卒業証書には、家族や仲間、教職員と過ごした様々な思い出が刻み込まれています。楽しい思い出が多い中で、辛く苦しかった思い出もあることでしょう。この学年は、高校生活の3年間のすべてがコロナ禍となり、一番大きな影響を受けましたが、それを乗り越えて本日、この節目の日を迎えたのです。35回生は、とても礼儀正しく、先輩、後輩や先生たちとワンチームとなって大変良く頑張りました。その存在と成果は岩田学園の歴史にしっかりと刻まれます。

ここで、岩田学園を巣立つみなさんへ、私が本校に勤務した35年前から卒業生に贈ってきた言葉をエールとします。

『輝ける未来へ』

100の事を行った結果が、たとえ1つ

の成功と99の失敗であっても、1つの成功に強い希望をもつことが大切です。多くの失敗に落胆し、やる気を失うことこそ本当の失敗になります。ならば失敗することを恐れるよりも、真剣でないことを恐れましょう。真剣ならたとえ失敗しても、ただでは起きぬ十分な心構えが自然とできてきます。ただ、人生は長い。そして世の中は広い。だからやらなければと誓ってもつい怠らだらしてしまう事があるでしょう。時には将来を悲観したり、自己嫌悪に陥ったりもするでしょう。それでも「さあ、これからだ」と元気を出していきましょう。

物事の捉え方を変えるだけで、将来は大きく変わります。生きている喜びを全身に感じ、輝ける未来に向かって進んでいきましょう。

(全校保護者へ)

最後になりますが、岩田学園はこれからも岩田英二先生の理念に基づき、生徒、保護者や同窓生の学校に対する高い帰属意識が涵養されていくような学校づくりに、これからも皆で鋭意努力します。

どうぞ、今後ともご家庭と学校が、お子さまが未来に進むための両輪となりますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



理事長賞
浦部 織さん



理事長賞
高野 琉音さん



理事長賞
吉岡 璃子さん



理事長賞
栗林 杏奈さん



理事長賞
西田 凌さん



理事長賞
甲斐 華さん



APU・立命館コース優秀賞
藪井 晴朝さん



皆勤賞(代表)
中島 諒悟さん



知事賞
吉岡 璃子さん



日本私立中高連会会長賞
矢田 昂聖さん



高校生新聞社賞
西田 凌さん



大分県私学保護者会会長賞
岩田 倫さん



立命館アジア太平洋大学
教育開発学習支援センター准教授
立山 博邦 様

岩田学園同窓会
樟友会
千壽 智明 様

保護者代表
謝辞
七森 貞 様

中学卒業式・3学期終業式 ～3/24実施～

3月24日(金)、中学卒業証書授与式並びに3学期終業式が実施されました。卒業生(中学3年生)とその保護者、関係職員が体育館での式に参加し、その他の在校生にはリモートにて教室に配信されるという形での開催となりました。

[理事長賞](3名)

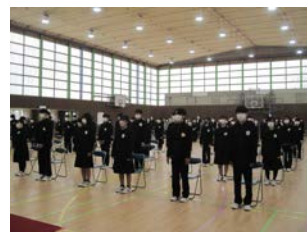
小野 楓枝 津村 明希 矢野 さくら

[皆勤賞](10名)

阿南 幸葉 山崎 志歩 青山 史織
後藤 志輝 上田 琥太郎 岡田 義治
金丸 麗 亀山 沙来 高谷 真惟
津村 明希

[日本私立中学校高等学校連合会会長賞]
川越 るり

[大分県私学保護者会長賞]
高谷 真惟



マレーシア修学旅行を振り返って

5年4組担任 増田 惣

高校2年生APUコース28名は2月14日から21日の7泊8日の日程でマレーシアに修学旅行に行きました。本校としては3年ぶり、県内でも新型コロナウイルスの流行以降初の海外修学旅行で、生徒・職員とも不安の中での出発となりました。初日からパスポートを飛行機内に忘れたり、シャワーからお湯が出なかったり、虫の大群に遭遇したりとさまざまなトラブルやハプニングにも直面しました。しかしながら、交流に訪れた現地学校では大歓迎をうけるなど現地の人々の優しさに触れ、クラスの仲間と協力することで無事に修学旅行を終えることができました。



独立記念広場

現地高校との交流



マレーシアはマレー系・インド系・中華系など多種多様なルーツを持つ人々が住み、仏教やイスラム教、キリスト教などのさまざまな宗教が混在する国です。今回の修学旅行は日本には触れることのできない本当の意味での「多様性」を肌で感じる機会となったと思います。また、ムスリムのご家庭に受け入れていただいたホームステイでは、宗教や文化の違いを物ともせず短い時間で本当の家族のような関係が築き上げられているのが印象的でした。

コロナ渦の中でも快く送り出してくださった保護者の皆さまや受け入れてくださった現地の方々など、今回の修学旅行を実施するにあたってご協力をいただいた全ての方々に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



ホストファミリーとの交流

【生徒の感想】

生まれて初めて海外に行きました。チャンギ空港に着いた時点で日本とは全然空気が違って、正直歩いているだけでも楽しかったです。マレーシアで出会った方達に共通するのは、皆さん良い意味で遠慮がないというか、自分に自信があって常に堂々としている感じがしました。そして凄いことに会話するだけでも自分に自信が湧いてくるという不思議な現象も起こりました。この機会を通して、クラス全体の雰囲気もより良くなったかなと感じています。初めての海外がこの修学旅行で本当に良かったです。

今回の修学旅行は多くの経験ができ、学ぶ事も多く、とても良いものだったと思います。最初は慣れない事やハプニングもあり、不安な気持ちでいっぱいでした。けれど、徐々に現地の生活にも慣れ、活動や食事の時間を通して友達との関わりが増えたので気持ちも明るくなり、とても楽しい時間が過ごせたと思います。ホストファミリーの方々はとても優しく、本当の家族の様に接してくれて、人の暖かみを心から感じました。この修学旅行を通して多くの経験や学び、友情を深める事が出来たと思います。これらをこの先の人生に活かしていきたいです。





医進クラス交流会

進路担当 山月 秀夫

2月28日(火)、医進クラス交流会が3年ぶりに実施されました。翌日(3/1)に行われる高校卒業式の予行に参加した高3医進クラスの先輩たちから、高1・高2医進クラスの後輩たちへ、受験勉強についてのアドバイス等をいただきました。高3生は、2/25(土)～2/26(日)の国公立大学前期試験を終えたばかりにも関わらず、皆前向きにこれまでの受験勉強を振り返り、後輩たちへ激励を送ってくれました。



高3の各グループが、7～8分ごとに高1・高2グループを移動しながら、アドバイスを伝えてまわるという形式で実施され、自身の成功談や失敗談を織り交ぜながら、「やはり英語と数学を高2までに通り終わらせておく」、「高3のGWが結構大切」や、共通テスト当日の話などをしていました。後輩たちも積極的に質問していたようです。

後輩たちにとっては、先輩たちの様々な勉強法を聞き、自分に合ったやり方を模索できるよい機会になったと思います。



2月～3月の部活動等結果報告

第68回青少年読書感想文全国コンクール 市優良賞 1-1 安部慶太

大分市男女共同参画センター(たびねす)主催 男女共同参画川柳コンテスト

最優秀賞 松崎吏世

優秀賞 原慶子

入賞 二ノ宮慶吾 牧ゆらら

書道部

第74回竹田展

入選 3-3 亀山沙来

第59回全国学生書道展

学年優秀賞 4-4 矢野乃梨花

創玄書道会奨励賞 3-1 野村心春

第67回毎日全国学生競書展

福岡市長賞 3-1 野村心春

第41回 大分県ジュニアデザイン展

佳作 副心乃葉 [4-1]

佳作 塩田遙香 [4-2]

佳作 高山真生 [4-2]

佳作 山本真綾 [4-2]

佳作 古代彩捺 [4-3]

推奨 牧ゆらら [4-3]

卓球部

3/18(土) 第34回広域圏中学生卓球大会

@コンパルホール

<団体戦>

予選リーグ2位

1試合目 岩田A 3 - 2 南大分B

1S 不戦敗

2S 不戦敗

3D 矢野&武藤 3 - 0

4S 藤澤 3 - 0

5S 永松 3 - 2

2試合目 岩田A 0 - 3 明野A

1S 不戦敗

2S 不戦敗

3D 矢野&武藤 2 - 3

4S 藤澤 1 - 3

予選Cリーグ3位

1試合目 岩田B 0 - 3 城東

1S 不戦敗

2S 藤谷 0 - 3

3D 安部慶&山本 0 - 3

2試合目 岩田B 0 - 3 滝尾A

1S 不戦敗

2S 林下 0 - 3

3D 藤谷&平島 1 - 3

今大会は、2チームまで出場可能ということで、部員全員が出場出来るように各チーム5人ずつの計10人で出場しました。

今年度最後の大会のため、部員たちも気合が入っていたのですが、インフルの流行もあいまって、練習が充分に出来ないまま試合当日を迎えました。

キャプテンが病欠で不在のため、1年生のみで2年生ばかりの格上チームと戦うこととなり、試合前の士気が低かったように思います。

Aチームは既に相手チームに2ポイントを許した状態でのスタートで、1試合でも負けると即終了というかなり分が悪い試合でしたが、3試合とも勝ち取り見事勝利を収める事が出来ました。2試合目では、序盤は好調でしたが、途中から失速し惜敗することとなりました。

一方、Bチームは大会に参加する機会が今まであまりなかったメンバーのため、格上相手に萎縮し、いつものプレーが試合で出ていなかったように思います。今回は全員で試合に出場することが目標だったので、その目標は達成できました。

1年生ももうすぐ2年生となり、徐々に自分たちが後輩へ指導をしていく側に回っていきます。

今度の大会は4月末に予定されているため、今後も試合に向けて、各人の苦手の克服、体力・精神力の向上を目指して頑張っていきます。

最後になりますが、保護者の方々には、送迎等のサポート感謝致します。

(顧問：草本 舜輔)

インターアクトクラブ

3月18日(土) トルコ・シリア大地震における被災者へ寄付のための街頭募金活動

18日の放課後、トキハ前・大分駅前広場南

口・セントポルタ商店街入り口の3ヶ所にて、街頭募金活動を行いました。

新型コロナの影響で今回が部創設以来初めての街頭募金活動でしたが、一人ひとりがハキハキとした声で、さらにはみんなで声を合わせて行き交う方々に向かって呼びかけをしている姿は、岩田生として誇らしく思えました。

また、今回は準備活動も大変でしたが、高校2年生を中心によく頑張ったと思います。募金総額218,581円は、ユニセフ自然災害緊急募金に送らせていただきます。

送迎等保護者の皆様のご協力、また、当日のお声かけや募金も大変お世話になりました。今後ともよろしく願いいたします。

(顧問：辰口 裕一朗)



3月11日(土)君たちはどう生きるか？～卒業生のバトンリレー～を中学校1年生と2年生が参加しました。13回生～27回生の卒業生6名が来校されました。パネルディスカッションでは中学時代、受験、職業など様々なお話を聞くことができました。貴重な体験をすることができました。生徒の感想をいくつか紹介します。

- ・自分の知っている職業は一般的な職業ばかりであり知られていない職業をたくさん知り、自分の道が増えました。まだまだ知らない職業は沢山あるので、それを知っておきたいです。
- ・先輩方の、「過去に戻れるなら勉強をしたい」という言葉で私も後悔のないように今から勉強を始めようと思いました。勉強を長時間することが苦手で、なかなかやる気にはなりません。そういう時にはこの言葉を思い出して勉強をしてみようと思います。本当に楽しい時間をありがとうございました。
- ・岩田での勉強の大切さを改めて感じました！いい機会をもらえてよかったです。
- ・守破離という時の守の字にあたっていると聞かされ、今の方にはめていく作業を土台にしてのこりの二文字も埋めていきたいです。そのためにもこの時期を大切にしていきたいです。

- ・経営の話には興味はあったので、詳しい話がたくさん聞けてよかったです。
- ・将来の事を考えて不安になる事もありますが、先輩方の話を聞いて、明るい未来を想像できるようになりました。1日1日を大切に過ごしていけば、結果はついてくるものであるという言葉に信じて、勉強と部活の両立は大変ですが、1日単位の短期目標をクリアしていく事に努力していこうと思います。
- ・私は「守破離」と言う言葉が印象に残りました。基本の型を「守って」、その型を「破り」、また「離れる」事で講演に来てくださった先輩方のように自分だけのスタイルや発想を創ることができると感じました。



来年度(2023年度)体育大会の日時・会場について

2023年度の体育大会につきまして、6月18日(日)に本校グラウンドで開催されることが決定しましたのでお知らせいたします。

体育大会予行 : 6月17日(土)

体育大会(本番) : 6月18日(日)

※ともに本校グラウンドで実施。

※6月19日(月)は休業日(予備日)

退職される先生方

今年度をもって退職される教職員をお知らせします。

阿部 順三 先生 (保健体育科)

西田 翔一 先生 (理科)

矢野 浩章 先生 (数学科)

関口 智子 先生 (家庭科)

宇都 馨 先生 (情報科)

渡部 庸 先生 (専任寮監)

安藤 昌広 先生 (社会科)

角田 陽子 先生 (英語科)

山月 玲子 先生 (英語科)

これまで本校の教育にたいへんご尽力をいただきました。生徒・教職員一同、皆さま方の今後のご活躍とご多幸を祈念いたします。ありがとうございました。



大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp

21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校